



森林作業研修(間伐材の搬出)

熱利用転換で環境を守り 未来につなぐ 木質バイオマス地域アライアンス

アライアンス結成
(前段階)

3地域

木質バイオマス熱利用
機器の導入支援

3施設
1,150kw

活動の全体目標に
対する達成度

35%

課題

温暖化防止、地域環境の保全、地域活性化のために、木質バイオマス熱利用の導入が有効である。その方策として地域ごとのアライアンス(同盟)を組織し、持続的に推進する。

活動内容

- ①木質バイオマス熱利用の地域アライアンスの実現のための普及・啓蒙活動、各地域のリーダーとの折衝など(研修会3回)。
- ②アライアンスを担う人材育成のための研修(実務研修4回)。
- ③木質バイオマスボイラー導入のための相談・現地調査を行い、事業性の可否を判断する、導入転換診断(9施設)を実施。
- ④木質バイオマスボイラー導入のための導入支援(技術的、補助金、届出等)を実施(3施設、1150kW)。



木質チップボイラー実習

今後の課題

- ①全国の意欲的な地域との連携により、地域で事業を完結できるように支援する。
- ②アライアンス予定の各地域での研修を着実に実施する。
- ③成果に貢献する、ボイラー導入診断・支援を重視する。

成果と工夫したポイント



成果

- ①地域アライアンスは2地域が育成。
- ②人材育成は座学・森林作業研修や実地研修を合計4回実施。
- ③導入・転換診断は9施設を終了。
- ④導入支援は3施設で、合計出力は1,150kWであった。

工夫

意欲ある地域を全国に求めて活動した。熱利用機器の導入支援を通じてアライアンス形成を心がけた。